

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策№	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	施策主管課	産業振興課
	施策№	4-3	施策名	観光の振興	施策主管 課長名	鵜川 晃
関係課	産業振興課					

1. 施策の目的

対 象	A 観光関連事業者	意 図	A 連携しながら戦略的な観光事業に取り組み成果をあげている
	B 町民・地域		B おもてなしの心が醸成され積極的に観光客に接している
	C 観光客		C 多くの人が訪れ、また来たいと思ってくれる

2. 成果指標

				上段：目標値 下段：実績値				
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内施設宿泊者数（増加）（現状値：H30時点）	人	16,155	16,400	16,450	16,500	16,550	16,600
				9,879	12,285	11,379		
②	B 観光ガイドの回数（増加）（現状値：H30時点）	件	78	89	85	90	87	89
				15	40	33		
③	C 観光消費額（増加）（現状値：H30時点）	万円	15,305	16,720	16,850	16,900	16,950	17,000
				4,680	9,256	7,682		
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	向羽黒山城祭りやリニューアルしたワインフェスなどの観光イベントを開催し、誘客を図ったものの、旅行支援補助を受けた前年度の実績値までは達しなかった。 また、2件の宿泊施設が後継者不在等により廃業したことも減少した要因となっている。
②	観光ガイドの多くを占める向羽黒山城跡のガイド件数が減少しているのが主な原因であり、前年度と比較して、ガイドの利用頻度が高い団体客の利用回数自体が減少したことが大きな要因となっている。
③	2件の宿泊施設が後継者不在や事業転換により廃業したことが減少した主な要因となっている。
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・町内外から多くの来場者がある「会津美里ワインフェス」を新たな観光イベントに定着させるとともに、会津美里町を広くPRするため、様々な分野に影響のある方を会津美里町観光大使6名（累計10名）を委嘱した。 ・広域連携事業である極上の会津プロジェクト協議会に参加し、面的な観光PRを実施するとともに、本町の魅力に新たに気付いてもらうためにInstagram「＃会津美里の日々」の充実を図った。 ・福島再生加速化交付金制度を活用し、コーエーテクモゲームスの「信長の野望」とコラボレーションを継続するとともに、雑誌「歴史街道」を通して向羽黒山城跡の魅力を全国へ発信し誘客に努めた。 ・本町の魅力をテーマにした「フォトコンテスト」を実施し、受賞作品をポスターとして配布するとともに、JR根岸駅に只見線の絶景看板を設置し、町内外に広く只見線と町との関係性をPRすることができた。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

地域における観光振興を図るため、賑わいによる経済的な波及効果が必要であることから、地域のあらゆる資源を活用するとともに、農業や商工業等の産業を含んだコミュニティの維持・活性化を図る。 また、町内の農産物や特産品を販売できる施設や、来訪者が休憩・飲食ができる施設の検討を行うとともに、観光イベントの実施やコンテンツ作り、広域連携事業を継続し、観光客を増やすため積極的な情報発信に努める。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4347	観光施設管理事業	19,778	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4351	観光誘客事業	18,753	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	4358	観光対策事業	57,868	拡充	現状維持	②生産性改善	○
4	14393	観光まちづくり推進事業	1,657	現状維持	現状維持	⑤現状維持	